

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北大出 探検・発見・伝えんといけん事業
事業主体 (連絡先)	北大出探訪会 090-9358-3679 (担当: 赤羽)
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	628,186円 (うち支援金: 460,000円)

事業内容

- ・一般参加者のほか、南小学校児童、教職員らの参加も得て、区内探訪会を2回実施し、地域特有の歴史や民俗、自然や災害の歴史を伝える場所や素材を探訪した。
- ・会員、一般参加者による北大出探訪マップ作成ワークショップを実施した。合わせて、探訪ガイドブックの内容構成について意見交換した。
- ・親しみやすい探訪マップや読みやすいガイドブックを編集、発刊し、区内全戸、小学校(児童・教職員)、協賛事業所や店舗などへ配布した。この探訪マップを使用した区内探訪ツアーを実施した。
- ・当地域の歴史に関連して、古い墓塔や供養塔を中心に、専門家による講演会を開催した。



【区内探訪ツアー】

【目標・ねらい】

- ①多世代の参加による探訪会実施
- ②地域の埋もれた魅力の再発見
- ③住民参加による、親しみやすいガイドブックや探訪マップの作成
- ④特徴ある文化の次世代への継承

事業効果

- ・地元小学校の高学年児童へのレクチャーや、探訪マップ、ガイドブックの配布により、子供達や教職員の関心を高める機会となり、今後の授業での取り組みが期待できる。
- ・探訪会や探訪ツアーの開催により、地域の歴史や民俗文化、自然の魅力と脅威に目を向ける機会となった。
- ・探訪マップ作成の企画・構成に区民が参画し、親しみやすい探訪マップやガイドとなった。古い写真や資料の探訪・収集をとおして、口述歴史の記録化を痛感した。
- ・協賛店舗等が予想以上に達し、地域の事業者・経営者の関心を高めた。また、店舗等への来客が気軽に探訪マップを手にする機会が広がった。

※自己評価【B】

【理由】

- ・探訪会参加者からは好評を得たが、子供達の参加に課題を残した。
- ・探訪マップ、ガイドブックの発刊は、地域の魅力発信、次世代への啓発・継承への契機となった。

今後の取り組み

- ・探訪マップを使用した探訪会、ガイドブックを使った講座などを次年度以降企画したい。地元小学校や公民館との連携を進め、世代を超えた交流を図りたい。
- ・今回、時代を追った内容のガイドブック編集に際して、伝統行事や民間信仰、戦争の記憶やそれらに関係する史資料が急速に失われている現状を実感した。次年度は、年配者などからのさまざまな聞き取り調査を重点的に進め、記録化し、公開への準備に取り組みたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある